

# チャペル週報

No.15

2016.9.19 ~ 9.23

王は答える。『はっきり言っておく。  
私の兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、  
わたしにしてくれたことなのである。』

(マタイによる福音書25章40節)



吉岡記念館とランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

---

## ☆ チャペル・スケジュール ☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

9月19日(月) 短 聖書物語「わらいの子」

---

9月20日(火) 神 平和を創る⑫ 柳 澤 田 実(神学部准教授)  
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)  
社 秋学期開始にあたって 打 樋 啓 史 (宗教主事)  
法 大 宮 有 博 (宗教主事)  
経 秋学期を迎えて 舟 木 讓 (宗教主事)  
商 山 本 俊 正 (宗教主事)  
国 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)  
理 前 川 裕 (宗教主事)  
総 細 見 和 志 (総合政策学部長)  
教 日 浦 直 美 (教育学部長)

---

9月21日(水) 神 夏期派遣報告 高 木 政 臣 (神学研究科M2)  
社 一文字シリーズ「言」① Ruth M. Grubel (宣教師)  
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)  
経 関西学院と校歌① 舟 木 讓 (宗教主事)  
商 山 本 俊 正 (宗教主事)  
人 新学期を迎えて 嶺 重 淑 (宗教主事)  
国 人間福祉学部チャペルに合流  
理 前 川 裕 (宗教主事)  
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)  
教 梶 原 直 美 (宗教主事)

---

9月22日(木) 神 夏期派遣報告 小 豆 真太郎(神学研究科M1)  
文 Andreas Rusterholz(宗教主事)  
社 一文字シリーズ「言」② 加 納 和 寛(神学部准教授)  
法 大 宮 有 博 (宗教主事)  
商 山 本 俊 正 (宗教主事)  
国 English Chapel Eun Ja Lee (Missionary)  
総 李 政 元 (総合政策学部教授)  
短 千 葉 武 夫 (聖和短期大学長)

---

9月23日(金) 神 夏期派遣報告 重 岡 奈津子(神学研究科M1)  
文 English Chapel Andreas Rusterholz (Chaplain)  
人 嶺 重 淑 (宗教主事)  
院 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)  
理 前 川 裕 (宗教主事)

---

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)  
9月23日(金) 創立記念日(9/28)を迎えるにあたって 村 田 治(学長)

---

# まだ見ぬ未来へ

打 樋 啓 史

本学に勤めて、早いもので18年目になります。私は中学部から関西学院でお世話になり、大学では二つの学部で学び、大学院の後期まで進んだので、計17年間、関西学院で生徒・学生生活を送りました。教員としての年数を合わせると、これまでの人生の7割以上を関西学院で過ごしてきたことになります。改めて数えてみると、こんな私を今まで見捨てずに育ててくれた「関学」が、人格をもった優しい親のように感じられてきます。

関西学院での35年を振り返ると、やはり「いい日々だった」と思います。失敗や苦い経験も少なくありません。しかしそんな時にも、周りの人々に支えられ、子どもの頃から大好きだったこのキャンパスの自然に囲まれて、歩んでくることができました。先の不安はありますが、過去の日々を思えば、「これからも色々あるだろうけど、根本的なところでは大丈夫だろう」と安心できるのです。

旧約聖書では、通常とは逆に時間をとらえます。私たちは、現在から見て、過去は自分の後ろ、未来は前にあるものと考え、「未来に向けて前進する」と言います。これに対し旧約聖書では、過去は「前にある日々」、未来は「背後にあるもの」です。これは、過去とは「神が既に行われた救いのできごと」として目の前に見えているもの、未来とは「神の手中にあってまだ見えず、背後に隠されたもの」と考えられたことによります。過去の救いのできごとを見つめて、「同じ神がこれから先もすべて整えてくださる」と信じることで、人々はまだ見ぬ未来へと進む勇気を得たのでした。

これに従えば、人は時間の流れのなかで、言わば「後ろ向きに進む」ことになります。ちょうどボートを漕ぐようなものです。ボートを漕ぐとき、進む方向、すなわち未来は、漕ぎ手の後ろにあります。漕ぎ手にとって、自分が通ってきたところは目の前にありますが、進んでいく方は後ろにあって見えません。漕ぎ手は目の前のものをしっかり見ていないと、ボートを後方に正しく漕ぎ進められないのです。

大学では秋学期が始まりました。私たちにとっての「前にある日々」、つまり過去を思い起こすことから、まだ見ぬ未来へ歩を進めたいと思います。思い出したくない過去の痛みや傷もあります。でも同時に、自分がこれまで生かされ、愛され、守られてきたという事実を見つめるとき、「これからもきっと大丈夫」と、不思議な勇気が湧いてくるのです。

(社会学部宗教主事)

## ●チャペルオルガニスト募集(対象:理工、総合政策学部生)

関西学院では毎年チャペルオルガニストを募集しており、秋学期は10月22日(土)にオーディションを行います。採用されますと個人レッスン(有料)を受けることができ、チャペルの奏楽をはじめ、発表会、研修会、コンサートなどを通して、教会音楽を中心とした幅広い知識、技能を身につけることができます。

### 募集要項・応募用紙の入手先

#### ・ホームページ

関西学院大学ホームページからダウンロードできます。

#### ・電子メール

organist@kwansei.ac.jpにあなたのキャンパス名を書いたメールを送信してください。

返信で送ります(添付ファイルが受信可能なメールアドレスからお送りください)。

#### ・事務室

宗教センター(吉岡記念館1階)、神戸三田キャンパス事務室(アカデミックコモンズ1階)に置いてあります。



QRコードリーダー対応の携帯電話をお使いの方は、左記のQRコードからアクセスしてください。

応募期間: 9月20日(火)～10月20日(木)の事務室開室時間

お問い合わせ・資料請求: 宗教センター オルガニスト募集担当

電話: 0798-54-6018 E-mail: organist@kwansei.ac.jp

## ●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。(17:50～18:20 1405号教室)

9月主題:「創立127周年を覚えて」

9月22日(木) 田淵 結(院長)

9月29日(木) 舟木 讓(宗教総主事)

## ●秋の献血週間のお知らせ<西宮上ヶ原キャンパス>

宗教総部献血実行委員会では、秋の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間: 10月3日(月)～7日(金)

受付場所: 吉岡記念館ラウンジ

主 催: 宗教総部献血実行委員会

## ●オルガン音楽の泉 2016 Fall Semester

パイプオルガンの響きに憩うお昼のひとつ、どなたでもご自由にお楽しみください。

第13回 10月5日(水) 中山 幾美子(同志社女子大学音楽学科嘱託講師)

第14回 10月18日(火) 能島 亜未(本学オルガン講師)

第15回 11月15日(火) 北村 あゆ美(ドイツ・ハンブルグ在住、Ev.Hoisbuettel Gemeindeオルガニスト)

第16回 11月25日(金) 坂倉 朗子(本学オルガン講師)

いずれも12:50～13:20[開場12:40予定]

ところ: 関西学院中央講堂(125周年記念講堂)

主 催: 宗教センター

## ●夕べの祈りatランバス～テゼの音楽とともに～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひとときです。

どなたでもご参加ください。

第3回 10月6日(木) 18:30～20:00

第4回 12月1日(木) 18:30～20:00

第5回 1月12日(木) 18:30～20:00

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催: 夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力: 関西学院宗教活動委員会

## ●関西学院チャペルオルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストははじめレッスン生たち42人が練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方、そしてランバス記念礼拝堂に入ったことのない方もお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。

と き: 10月8日(土)10時～16時

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

指導者: 太宰まり、能島亜未、坂倉朗子、西山聡子

主 催: 宗教センター